

サクレーIPhT での滞在について

2017 年 8 月 10 日

物理学専攻 福嶋研 D1 阿部雄哉

5 月 14 日から 8 月 10 日までの約 3 か月間、フランスのサクレー原子力庁理論物理学研究所(IPhT, CEA Saclay)に滞在させていただき、複素ランジュバン法による量子系の数値シミュレーションについて Francois Gelis 教授とともに共同研究を行いました。また、6 月 29 日にはイタリアの ECTstar で行われたワークショップに参加し、修士論文の内容を中心に 1 時間の発表を行いました。

サクレーでは複素ランジュバン法の安定性について、簡単なモデルを用いて解析的な研究を行いました。その結果、基礎方程式に不安定なモードが含まれている可能性があることが見出されました。また、ECTstar でのワークショップでは最近の進展についての情報を得ることができました。さらにこの分野の大家である Gert Aarts 教授と議論し多くのアイデアをいただきました。

最後に忙しい中で訪問を受け入れてくださった Francois Gelis 教授、滞在をサポートしていただいた ALPS コースの方々に感謝を申し上げます。



図：IPhT の研究棟